



願生

宗教法人 三寶寺寺報 2014号
2016年8月発行 発行人 自崎三寶寺住職
〒伊勢原市沼目3の12の2
電話 0463-19313236
FAX 0463-19315452
購読 冥加金年3千円送料込み
振り込み先口座 宗教法人 三寶寺
00290の1の38946

ラオス国に、現地の切なる要望に応じて、中学校教室増設、ついに本年度8月完成
コプチャイ ライライ (ラオス語) ありがとう 中学校建設日本支援第一号となる

ラオスに中学校開校の為 教室増設に向けて、いよいよ建設開始
三寶寺の有縁の皆様方には、世界中でも貧困国とされているラオス国での教育支援として、日頃から、ご協力を賜わり誠にありがとうございます。
2011年の1月に、伊勢原市立文化会館小ホールに勸募の方法として、チャリティー歌謡ショーの旗揚げをして、年2回の実施で第10回を迎え、募金額は、150万円となりました。
機縁となりましたF様は、懸命に力を注いでくれました。相談をして、智慧を出して下さったプロ歌手T様、文化会館の寺としての使用可能な道しるをして下さったO様スタッフの皆様方、又、寺の大事事での報恩講でのバザーに、お品をご提供下さったご門徒の皆様方、さらに、ご送金して下さいました方々に加えて、当寺の講師費を学校づくりにと、献金して下さいましたY先生、コインボードに、お金の差し込みをされたA様ありがとうございました。
奨学金は、報恩講でのバザーで続け、ラオス中学校の建設費・机・教材などたりない部分は、2017年1月28日チャリティー歌謡ショーの収益金で賄う予定です。
三寶寺の法話会・葉山の御用邸勤勞奉仕・仏典学習会・花まつり・移動法話会・研修などにもご参加下さい。
合掌

第12願 (光明無量の願) prabhāは、いずれの訳も「光明」または「光」と訳している。vidyā (明)とは原語が違うことに注意する必要がある。vidyā (明、√vid [知る]) は、「知られべき」で、「知らるべきものについての認識」で、wisdom (叡智) の語源である。知らるべきものは「聖なる真実 - 四聖諦」で、「聖なる真実の認識」が vidyā であり、それが無いのが avidyā (無明) である。つまり「無明」というのは、「明るさがない」ことではなく、知らるべきことが知られていない - 知らるべきことの認識がない - ことを意味する。vidyā があらわれて知る認識が、jñāna (智・仏智) である。光明無量の願は、生まれて来た人々が、世を救済 (苦を抜く・楽を与える) 役割をいう。

- P1. ラオス国に、日本第1号のケース 中学校開校支援の御礼
- P2. 天皇が陛下「ご退宮」記事7月14日葉山御用邸内で奉送。お内仏に向かう意義
- P3. ラオス国のラオカ村に中学校開校の為の教室建設経緯・現在・未来
- P4.5 三寶寺行事、三寶寺跡取り「見尋」初節句 写真集
- P6. 編集後記

煩悩に救いの
光見えずとも
如来は常に
我照らす
煩悩障眼雖不見
大悲無倦常照我
正信偈 親鸞聖人

法話

法句経387仏陀のお言葉
太陽は昼に輝き 月は夜に照る
武人 (ものゝふ) は武具
いかめしくかがやき
祭祀 (まつり) の司は 心静かに光る
されど さとれる者は
ひねもす よもすがら
威光 (ひかり) もて
すべてに輝きわたる
三寶寺住職法話
覚れる者とは、人間として生まれた時から、備わっている仏性・慈悲心なり。慈悲心は、法の体を母体にして、慈母が、赤子に尽くすが如く働きかけるを光に、例えるこれ阿彌陀如来の本願なり。
阿彌陀は、計り知れない慈母心、如来は、各の如く来たり (如来) て、互いに、助け合う機縁を作る。それぞれ、与えられて役割を以って、生まれたことを教示せん。
親鸞聖人は、12の光を正信偈に現した。光には、うらおもて、夜・昼なし。いつも苦惱の衆生を救いに来る。光の中の一つ、無碍のひかりは、障りのない命である。無碍の碍を、害という字に当てはめ、障害者としてはならない。さとれる者・生まれし汝自身なり、光には裏表、夜・昼なし。勇氣を持って、いつでもどこでも、慈悲心の光を照らさん。法話を通じて、皆様と共に仏法に互いに、会いたいですね。合掌

行事予定

- 7月6日 (水) 移動法話会 築地市場
- 7月7日 (木) 葉山御用邸勤勞奉仕
- 13日 (水) から16 (土) 日 お盆
- 15日 (金) パーリ語・仏典学習会
- 13時30分から 悟り覚者の道
- 8月13日 (土) 定例法話会・合同盆会・戦没者追悼式。14時受付、14時30分から読経。合同盆会には、過去帳又は、法名軸をご持参下さい。お盆の期間は、13日 (土) から16日 (火) お盆の期間は、ご自宅にお伺い致します。
- 9月10日 (土) 定例法話会 13時30分
- 9月16日 (金) パーリ語・仏典学習会
- 13時30分から 悟り覚者の道となる
- 9月19日 (月) から25 (日) まで、秋の彼岸会 彼岸会の期間は、ご自宅にお伺い致します。
- 9月22日 (木) 合同彼岸会。14時受付、14時30分から読経。合同彼岸会には、過去帳又は、法名軸をご持参下さい。
- 10月8日 (土) 定例法話会 13時30分
- 10月21日 (金) パーリ語・仏典学習会
- 13時30分から 悟り覚者の道
- 11月13日 (日) ラオス国中学校教室贈呈式参加訪問17日 (木) まで
- 11月18日 (金) パーリ語・仏典学習会
- 13時30分から 悟り覚者の道
- 12月10日 (土) 定例法話会 13時30分 (12月8日のお釈迦様の成道会合流) お釈迦様の話された原始経典を読む) 乳がゆを頂きます。
- 12月16日 (金) パーリ語・仏典学習会
- 13時30分から 悟り覚者の道
- 2017 (H29) 年1月1日 (日) 修正会。14時から16時まで
- 1月14日 (土) 定例法話会 13時30分
- 1月20日 (金) パーリ語・仏典学習会
- 13時30分から 悟り覚者の道
- 1月28日 (土) 最終回第11回ラオス教室建設チャリティー歌謡ショー
- 伊勢原市文化会館小ホール。9時30分開演から15時30分頃まで
- 三寶寺門信徒の会 会費ご納入のお願い
どうぞよろしくお願ひ申し上げます。振り込み用紙をご同封させて頂きます。定例法話会へ参加のお願い
門信徒会員の皆様には、定例法話会のご参加をお願い申し上げます。法話会以外にも、聖典・パーリ語読書会が有ります。日本の中で、数多くのお寺が有りますが、原始経典を主体の法話のお寺は、三寶寺だけと、自負しております。法話によって、必

編集後記

半年が過ぎた。半年の中で、九州の地震が起きた。地震は、起きにくい処であると言われていた。そこで、起きた。教訓は、何時如何なる事が起こるか解らない。備えた有れば、憂いなしの教えである。残りの日々を地震に備えて、非常食を備蓄しなければと思った。そこで、備蓄の中で、一番大切な者は何かと思つた。ニュースを見て、「水が一番大切」いう声を聞いた。すぐに、近くのスーパーに、水を買に行つた。驚いた。安い水が置いてあった棚が、空っぽであった。残つていた水は、ミネラルウォーターが有り、一ケース2千5百円もしている。買つて帰ると、「高いわね」と、妻が言った。聞くところによると、米とトイレットペーパーも品薄とのこと。こんな危機管理意識も、時が立つと、「まあいいや。地震は、起きる訳がない。地震が来たとき考えればいだろう。何とかなるはずだ。私自身が、こんな考えだからこそ、人生は備 れば、憂いなしの教えが、真剣にこの身に入っていない事を懺悔した。残りの半年、非常食を備蓄を心がけ、更に、災害に遭われた方々に、又これから、災害が起こると思われこの地域に、助け会える組織、施設作りなど、何が出来るかを考えて行きたいと思う。皆さまと共に、残りの月日をどう過ごすかを改めてまいりましょう。
合掌